

単元構想シート

① 本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

安心・安全な町とはどんな町だろう。

② 単元を貫く問い（単元を通して考えを深めていく「問い」）

安心・安全な暮らしを守るために、自分たちにできることは何だろう。

③ 個別の問い（単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・熊野町は安心・安全な町なのだろうか。
- ・学校や町の安心・安全につながる工夫には、どのようなものがあるのだろうか。
- ・安心・安全につながるものがあるのはどんな場所だろうか。
- ・安心・安全につながる人・もの・ことはそれぞれ何のため(誰のため)にあるのだろうか。
- ・町の安心・安全についてもっと詳しく調べよう。
- ・熊三小の下級生が安心・安全に暮らすために私たちに何ができるだろう。

「わたしたちの町について調べよう」

- ①熊野町は安心・安全な町なのか考え、学習計画を立てる。
- ②熊野町の中で、安心・安全につながる人・もの・ことについて調べる。(フィールドワーク)
- ③調べたことを地図に整理し、気付きや疑問を出し合う。
- ④もっと知りたい安心・安全につながる人・もの・ことを選択し、詳しく調べる。
- ⑤調べたことを整理して、伝える目的や伝える相手、伝える方法を考えて発信する。
- ⑥わたしたちが見つけた安心・安全に関わる工夫は、災害時に命や暮らしを守ることができるのか考え、2学期への課題意識をもつ。

第4学年 「総合的な学習の時間」 学習指導案

指導者 松尾 緑

- | | | |
|---------|---|--------------------------|
| 1 日 | 時 | 令和7年 6月10日(火) 第4校時 |
| 2 学年・学級 | | 第4学年2組(男子12名 女子10名) 計22名 |
| 3 単元名 | | 「わたしたちの町について調べよう」 |

4 単元について

(1) 単元観

人々が安心・安全に暮らすことは、生きる上で最も基本的かつ不可欠なことである。そして、安心・安全な暮らしを継続させていくためには、個人だけではなく、地域や社会全体で意識を高め、全ての人々が安心・安全な暮らしを守るためにできることを考え、取り組んでいくことが重要である。

本単元では、「安心・安全な町とはどんな町なのか。」「自分たちが暮らす町や地域は本当に安心・安全な場所と言えるのか。」について考えたり、安心・安全につながっている人・もの・ことを調べたりすることを通して、町や住民が協力して安心・安全な町を作っていることを知っていく。さらに、その気付きから自分たちにできることは何か話し合ったり、学習したことを発信したりしていく学習へとつなげていく。学習を通して、進んで安心・安全な社会づくりに参加し、貢献できるような資質・能力を育てていくことをねらいとする。

(2) 児童観

本学級の児童は毎年、マイタイムラインを作成したり、避難訓練を経験したりと災害安全や生活安全(不審者)について学び、命を守る大切さについて理解している。また、3年生の社会科の学習では、消防署や警察署について学習し、町の安全を守るために地域が協力していることや、信号や子ども110番の家など、安全を守るための設備や施設が町の中にあることも理解している。

しかし、実際に災害に備え家庭で持ち出し袋を備えている児童は少なく、町のどこに安全を守る施設や設備があるのか把握していない児童もいるなど、知識と行動にはズレがあり、自分事として捉えることが十分にはできていないことが考えられる。

(3) 指導観

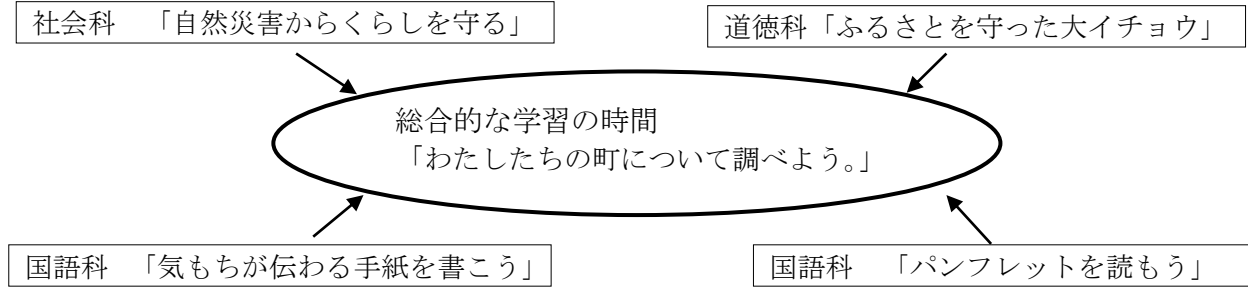
指導に当たっては、町や住民の協力によって自分たちが安心・安全にこの町で暮らすことができていることに気付き、この町で生活する一員として具体的な取組を行う必要性を実感させたい。

そのために、課題設定では今年度熊野町が広島県幸福度ランキング1位であったことや、その結果に関する町の人へのインタビュー映像を取り上げ、「熊野町は本当に安心・安全な町なのだろうか。」などの疑問から課題を設定する。情報収集では、学校の周りをフィールドワークする活動を取り入れることで、身の回りのどんな場所に安心・安全につながるものがあるのかを知ると共に、多くの安心・安全があることに気付かせていきたい。さらに整理・分析では、見つけた安心・安全を地図に整理することで、その場所が実は交通や防犯上、危険な場所であることに気付いたり、その危険から人々を守ろうと取り組む町や人々の思いを考えたりできるようにしていきたい。まとめ・表現では、町に暮らす一員として、自分にできることを考えていき、自分たちが学んだことをグループごとにまとめ、下級生へ発信して、地域の中で命を守るための行動の第一歩とさせたい。

5 単元の目標

熊野町の安心・安全につながる人・もの・ことについて調べることを通して、自分たちの安心・安全な暮らしはさまざまな工夫で守られていることが分かり、学んだことを生かして自分たちの安心・安全を守るために、自分たちにできることを考え、下級生に発信することができるようにする。

6 単元の構成



7 指導計画 (26 時間)

(時間)	学習活動	他教科との関連	評価方法
1. 熊野町について知ろう (3)	<p>課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県幸福度ランキング1位の結果から、その理由や、熊野町は安心・安全な町なのかについて考える。 ・ 「安心・安全な生活を守るために、自分たちにできることを考え実行する」という学習課題を立てる。 ・ 学習課題を解決するための学習計画を立てる。 	道徳科 「ふるさとを守った大イチョウ」	発言、行動観察、ワークシート
2. 熊野町の安心・安全について調べよう (13)	<p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の中にある安心・安全につながる人・もの・ことを見付ける。 ・ 学校の周りにある安心・安全につながる人・もの・ことを見付ける。(フィールドワーク) <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調べたことを地図に整理し、気付きや疑問をもつ。 ・ 気付きや疑問の中から詳しく調べたいことを話し合う。 <p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 詳しく調べたいことについて、グループに分かれてインターネットや地域副読本で情報を集めたり、もう一度フィールドワークをしたりして情報を集める。 <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集めた情報を整理する。 ・ 学習課題を振り返り、整理した情報を町の安心・安全を守るためにどのように活用すればよいか考える。 	国語科 「気持ちが伝わる手紙を書こう」	発言・インタビューメモ・ワークシート 行動観察
3. 相手を意識して発表の準備をしよう (9) 【本時 18/26】	<p>まとめ・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報を発信する相手を意識して、町の安心・安全について関心を高めてもらえるよう、どのような方法で伝えればよいか考える。 ・ グループで発表の準備や練習をする。 ・ 調べてまとめたことや考えを伝える。 	国語科 「パンフレットを読もう」	発言、ワークシート
4. 振り返りをしよう (1)	<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わたしたちの町の安心・安全について、学習を通して学んだことを振り返り、今後の課題作りへの見通しをもつ。 	社会科 「自然災害からくらしを守る」	発言 ワークシート

8 単元の評価規準

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		分かる・できる力	やりたいを実現する力 (表現力)	向上心	思いやり
単元の 評価規準		・熊野町の安心・安全なところはどんなところか理解している。	・熊野町の安心・安全について調べたことや自分の考えなどを、相手や目的を意識して書き表したり、伝えたりしようとする。	・熊野町の安心・安全について学習したことを基に自分たちにできることなどを考えようとしている。	・友達と関わりながら取り組み、問題解決しようとしている。
評価規準	1	①自分たちの安心・安全な暮らしはさまざまな工夫で守られていることを理解している。	①生活で安心・安全を感じる場面や危険を感じる場면을振り返ることから学習問題を設定し、解決のための見通しをもっている。	①生活の中で安心・安全と危険を感じることを話し合い、それらを基に問いを見出している。	
	2	②目的や対象に応じてフィールドワークや写真、インターネットなど、調査活動を適切に実施している。	②課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。		
	3		③熊野町の安心・安全について学習したことや考えたことをどのような表現方法で伝えるのか、自分の考えと理由を伝えている。		
		③安心・安全な暮らしを守るために、自分は何ができるかまとめている。	④調べたり考えたりしたことを図・写真・言葉などで分かりやすく表現して、熊野町の安心・安全について下級生に伝えている。		①友達と関わりながら取り組み、発表に向けて準備しようとしている。
	4			②互いの考えの良さに気づき、もっと地域の人に知ってもらいたいという思いをもとうとしている。	

9 単元の評価基準

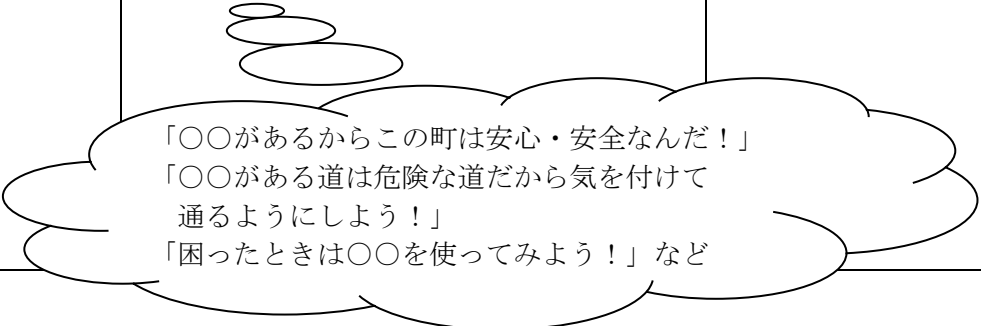
		A	B	Bに到達させるための手立て
分かる・できる力	②	調査活動を目的や対象に応じて複数の視点から実施している。	調査活動を目的や対象に応じて適切に実施している。	どんな調査活動の方法があるか共有する。 何について情報を集めるか明確にするために役割分担をする。
やりたいを実現する力 (表現力) (本時)	③	グループで表現方法を選ぶために、自分の考えと理由を友達の考えと比較したり付け加えたりしながら整理して相手に伝えている。	グループで表現方法を選ぶために、自分の考えと理由を伝えている。	あらかじめ個人で考えた表現方法と理由をカードに書いておく。 表現方法を選ぶ条件を明確にし、その条件に合うか合わないかで考えがもてるようにする。
向上心	①	熊野町の安心・安全について経験や知っていることを基に知りたいことを整理して、学習問題をつくっている。	熊野町の安心・安全について知りたいことを整理して、学習問題をつくっている。	熊野町の安心・安全が自分たちの生活にどのような影響を与えているのか具体的に想像させて考えられるようにする。
思いやり	①	友達を助けたり友達の考えや思いを理解したりしながら発表に向けて取り組んでいる。	友達と関わりながらまとめ、発表に向けて準備しようとしている。	友達の考えを聞いたり、協力して準備をしたりできるようにする。

10 本時の展開 (本時 18/26)

(1) 本時の目標

下級生に安心・安全について発表するためにどのような表現方法が良いか視点を基に話し合い、決定することができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の姿	指導上の留意点 (・) 評価の視点 (☆)
導入	1 本時のめあてを確認する。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 安心・安全について下級生にどのような方法で伝えるのが良いか話し合っ決めてよう。 </div>		
	2 方法を選ぶ視点を確認する。	○自分で考えた方法と理由を確かめましよう。 ○表現方法を決める条件は何ですか。 ・下級生に分かりやすい方法か。 ・楽しんでもらえる方法か。 ・「安心・安全」が伝わる方法か。	・自分の意見がもてるようにあらかじめ方法と理由をカードに書いておく。
	 <p>「〇〇があるからこの町は安心・安全なんだ！」 「〇〇がある道は危険な道だから気を付けて通るようにしよう！」 「困ったときは〇〇を使ってみよう！」など</p>		

<p>展開</p>	<p>3 どんな表現方法にするかグループで話し合う。</p> <p>カーブミラーグループ</p> <p>「カーブミラー〇×クイズ」にして発表したら1年生や2年生も楽しいし、分かりやすいと思う。</p> <p>でも、クイズだと正解か間違いかしつた伝わらないよね。もっと安全に登下校しようと思ってもらえるかな。</p> <p>信号機グループ</p> <p>音が鳴る信号機の場所について本にすれば、危ない場所をいつでも確認できるから、分かりやすいと思うな。</p> <p>クイズをしてから、詳しい説明を本にして渡すのはどうかな。</p> <p>後から確認できるのはいいけど、下級生に読みたいと思ってもらえるかな。</p>	<p>〇3つの条件をクリアできる表現方法を話し合って決めましよう。</p> <p>パワーポイントでカーブミラーの説明をした後で「たしかめ〇×クイズ」をすれば、楽しいし、安心・安全も伝わりそう。</p> <p>音が鳴る信号機の場所について本にすれば、危ない場所をいつでも確認できるから、分かりやすいと思うな。</p> <p>クイズをしてから、詳しい説明を本にして渡すのはどうかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 表現を一つに絞るだけでなく、意見を組み合わせたり、新しい方法を考え出したりしても良いことを伝える。 • 前時までに各班でまとめた伝えたい内容を掲示し、話合いの途中でも確かめられるようにする。 • 机間指導しながら3つの条件を基に話ができている児童やグループの様子を全体に広め、価値付けていく。 <p>★目的に合わせて、どのような表現方法がよいか、自分の考えを伝えている。【表③表現力】(話合いの様子、ワークシート)</p>
<p>まとめ</p>	<p>4 まとめをする。</p> <p>5 振り返りをする。</p>	<p>〇話し合ったことをまとめましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 私たちのグループはパワーポイントを使ってカーブミラーについて説明した後、確かめ〇×クイズをする。 • 僕たちのグループは、信号についてのクイズをして、後から確認できるように説明が書いてある本を作って渡す。 <p>〇学習を振り返りましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 友達の意見と自分の意見を組み合わせると下級生が楽しいし、伝えたいことも伝わる方法が見つかった。 	<ul style="list-style-type: none"> • 視点を基に話し合うことができたかどうかを振り返らせる。